



「第5次行財政改革大綱・実施計画」の 平成30年度実施結果および令和元年度実施計画を公表

ID 1010775 企画経営課 ☎514-8069

第5次行財政改革大綱・実施計画は、「持続可能性のある未来」の実現を目指して4つの財政指標と109の取組項目を設定し、行財政基盤の強化を目的として平成29年度より取り組みを開始しました(取組項目は平成30年

度に6項目追加され、現在は115項目です)。計画期間は令和2年度までですが、前年度の計画に対する進捗状況および残り期間の計画内容を毎年度公表していきます。詳細は、市内各図書館、市HPでご覧いただけます。

4つの財政指標の目標値と推移

指標名	平成29年度 決算値	平成30年度 決算値	令和2年度 目標値
1. 経常収支比率(注)	92.8%	7.2%悪化 → 100%	91.0%
2. 市債などの残高(土地開発公社を含む全会計)	696億円	目標値内 → 672億円	690億円
3. 財政調整基金の残高(普通会計)	42億円	1億円改善 → 43億円	45~50億円
4. 人件費構成比率(普通会計)	14.7%	目標値内 → 14.5%	15%台の維持

(注)歳入経常一般財源に臨時財政対策債などを加えない場合の数値

取組項目の平成30年度進捗状況(115項目)

計画通り進んでいる項目	80項目(70%)
遅れている項目	35項目(30%)

※「目標達成・完了した項目」、「中止した項目」はありませんでした

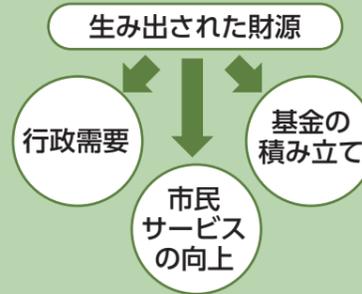
主な取組項目

- 都市計画税の税率改定
- 市立保育園1園の民営化
- 電力調達方法の見直し など

財政効果(総額)

約8億1,500万円

ここで示した財政効果とは、「第5次行財政改革を行ったことにより、行わなかった場合と比較した財政効果額」です。第5次行財政改革によって生み出された財源は、増大する行政需要や新しい政策課題に対応するほか、将来を見据え、基金積立などにも充当していきます。



令和元年度実施計画

第5次行財政改革に定めた3つの基本方針(持続可能性を確保した財政運営・経営感覚のある市政運営と適正な事務管理・市有財産の適正なストックマネジメントと有効活用)の視点に沿って、具体的な121の取組項目(平成30年度実施計画の115の取組項目に加え、次の視点で新たに取組むべき項目を6項目追加したものを)を定めています。

新規取組項目の視点

- 1 平成30年度行政評価で次のように評価した事業
 - (1) 抜本的見直し
 - ①車いすタクシー運行事業補助金のあり方の見直し
 - ②寝たきり高齢者看護手当のあり方の見直し
 - ③太陽光発電システム等設置補助金のあり方の見直し
 - ④剪定枝・チップ化業務委託のあり方の見直し
 - (2) 休止・廃止
 - ⑤福祉センター入浴事業のあり方の見直し
- 2 新たに取り組むべき事業
 - ⑥業務におけるAI・RPA導入可能性の検討

第1回 PlanTビジネスプランコンテスト with 起業家万博2019グランプリが決定



ID 1009883 産業振興課 ☎514-8442

12月8日、市では創業や新しい事業分野にチャレンジしている方々のビジネスプラン発表の場およびビジネスパートナー・スポンサー出会いの場作りを目的にビジネスプランコンテストを開催、最終審査に残った6人が発表を行いました。広報今号では、このコンテストの様相などを紹介します。

SNS型クラウド 見取りネットワークと AIを活用した 製造業の未来

表紙の人

なとりきよかず
名取磨一さん
(株)TERMINALQ
代表取締役 CEO



先代社長の病気で突然の事業承継

今回、グランプリを獲得した名取さんは、日野市生まれ。平山台小、平山中、日野高と日野市で学生時代を過ごした。高校卒業後、祖父が社長を務め金属・樹脂の精密加工を行う月井精密(株)(八王子市)に入社、職人気質の祖父と二人きりの会社で、ものづくりの基礎とその奥深さを学んだ。20歳の時、祖父の病気で突然事業を継ぐことに。見取り・加工・納品・経理とあらゆる業務を一人でこなさなくてはならない窮地に立たされた。

お金を産まない0円業務の見取りづくりを何とかしたい!

途方に暮れた名取さんは、「困ったときのインターネット検索!」とアナログ回線の黒電話の環境だった工場にインターネット回線を引いた。そこからファクスはメールに、手書きの見積書・納品書・請求書は販売管理システム、タイムカード・給与計算はソフト導入と一気にデジタル化を進めた。さらにお金を産まない、いわゆる「0円業務」の見積書作成の課題解決に取り組んだ。PlanT(多摩平の森産業連携センター)に会議できる場所があると聞き、そこにエンジニアや学生たちに集まってもらい構想4年・開発3年のすえ、2015年「製造業のためのクラウド見取りシステム~TerminalQ(Quotation・見積り)」を開発した。

このシステムは、見積りのビッグデータを活用し、どの会社にどのような技術があるかをAI(人工知能)に自動学習させ、顧客は作りたい物の図面をシステム内に入れるだけで世界中の工場の中から最適な発注先を示してくれるものだ。現在、このシステムに国内外1,500社が加盟し、1日数千件の取引が行われている。

▲熱のこもった出場者の発表を聴く審査員

夢は海外の市場・他業種へ

将来は、海外にもさらに市場を広げ、また見取りで困っている他業種の方にも使ってもらえるものになりたいと考えている。PlanTに集まり、みんなに助けを借りて苦境を乗り越えた。これからは日野市に恩返しをしたいと語る。

今回、グランプリ受賞と同時にNICT(国立研究開発法人情報通信研究機構)主催の起業家万博2019全国大会の出場権を獲得した。「3月の全国大会まで、さらにこのビジネスプランを強固で魅力あるものになりたい」と名取さん。

2015年システム完成時に立ち上げた会社を、今年1月にシステム名を前面に打ち出した社名に変更した。日野市から大起業家が誕生することを期待したい。



そのほかの方に共催および協力企業から各賞を授与

準グランプリ 菅谷 masia氏
「50年保証」ハイスペック技術系男子を本物のエリートにするスクール運営



たましん賞 大槻知子氏
住民同士がつながり支え合える、地域の福祉力を底上げするコミュニティハウス事業



Herstory賞 渡辺光枝氏
赤ちゃんやアレルギーの人も安心! 特別なあんこの花ケーキの販売



Herstory賞 杉本朋哉氏
新しい家族のかたち「シェアファミリー」



Herstory賞 川添亮氏
カレンダーアプリを利用した未来の情報を売買するサービス



▲コンテスト終了後審査員とともに